

第299号

いたばし町連

板橋区町会連合会

発行 板橋区町会連合会
 東京都板橋区板橋2-66-1
 板橋区役所区民文化部
 地域振興課気付
 電話 03-3579-2163

編集 会長 平塚幸雄
 印刷 板橋区町会連合会広報部
 ティーエービー
 東京都板橋区板橋2-50-9
 電話 03-6780-3336

新年度事業・予算決定！ 令和4年度 定期総会

板橋区町会連合会の令和4年度定期総会が5月30日(月)午後2時からハイライブラザイいたばしで、町会・自治会長118名が出席して開催された。昨年、一昨年と2年にわたり新型コロナウイルスの感染拡大により書面開催となっていたが、今年度は入場時の手指消毒、マスク着用、十分な換気など感染防止対策を講じたうえでの開催となった。

板橋区町会連合会定期総会では、小林英子副会長から、「日頃より町連の運営や事業推進に多大なるご理解と御協力を賜り、心からお礼申し上げます。また、本日は大勢の皆様にご参加をいただき、重ねてお礼申し上げます。各町会・自治会の皆様におかれましては、日々住みよい地域づくりをめざし、ご活躍されていることに感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症が確認されたから、



総会で挨拶する平塚会長

足掛け3年が過ぎていきなり、町会・自治会長及び役員の皆様は、地域の実情にあわせ、感染対策のうねり、趣向を凝らした事業を展開し、日常の活気を取り戻そうと努力を重ねていただいているところ。本日は、令和4年度の事業計画など、日常を取り戻す糧となる提案も込められております。課題もあるかとは存じますが、安心・安全、住んで良かったと思える地域づくりにめざし、一歩一歩進んでまいりたいと考えていますので、皆様の絶大なご協力とご支援いただけますようお願いいたします。」と、思いを込めたあいさつがあった。

この後、町連会則第10条に基づいて平塚会長が議長になり議事に入った。議案第1号令和3年度事業報告、議案第2号住民防犯組織育成事業報告及び議案第3号周年行事特別事業報告について、榎本進副会長から各事業の実施結果の概略が報告された。

次に、議案第4号令和3年度一般会計決算、議案第5号住民防犯組織育成事業特別会計決算及び議案第6号周年行事特別事業会計決算について川邊紀雄会計長から報告がなされた。続いて、小林時也代表として矢作清氏(下赤塚支部前支部長、前下赤塚町会会長)が謝辞を述べた。最後に石川隆彦副会長の閉会の辞で定期総会を終了した。



総会の様子

通常総会では、この後会場を移し、坂本区長をはじめ区内官公署や関係友好団体の代表を招き、盛大に懇親会が行われていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむなく中止となった。

議案第7号10号は一括して議決に付され、特段の質問はなく多数の拍手で原案通り決定した。その後、町会・自治会長として永年(2期4年)以上ご活躍されて退任された12名の方に感謝状及び記念品を贈呈するとの紹介があり、当日出席された方には平塚会長から感謝状が直接手渡された。退任町会・自治会長を代表して矢作清氏(下赤塚支部前支部長、前下赤塚町会会長)が謝辞を述べた。最後に石川隆彦副会長の閉会の辞で定期総会を終了した。



司会・進行は小林英子副会長

マレーシア首相が区役所を表敬訪問

5月24日(火)午前、マレーシア首相のイスマイル・サブリ・ビン・ヤアコブ氏一行が板橋区役所を表敬訪問した。10時15分から9階大会議室で歓迎セレモニーが開催され、町連から平塚会長以下、副会長、会計、監事が招待された。板橋区とマレーシアは、1994年9月21日、区立熱帯環境植物館とマレーシア・ペナン州立ペナン植物園との間で、「友好提携に関する共同声明」に調印している。

また、マレーシアにおいて、東京二十三区清掃一部事務組合が保有する技術を活用した清掃事業の国際協力のほか、区立中学生派遣事業等の国際交流事業を行ってきた。セレモニー冒頭、志村第一中学校生徒の英語による歓迎メッセージが始まり、続いて坂本区長のあいさつ、イスマイル・サブリ・ビン・ヤアコブ首相のあいさつと続いた。それぞれが用意した通訳による、逐次通訳で行われた。

土産品の交換では、板橋区から区の伝統工芸品の江戸筆が贈られた。最終に、成増里神楽保存会による獅子舞が披露されたが、イスマイル・サブリ首相のご家族であるうか、小さな女の子が怖がって逃げ出すハプニングもあった。

最後に記念撮影が行われ、終始友好ムードで終了した。

退任町会・自治会長に感謝状を贈呈

町会・自治会長に2期4年以上在職し、地域の進展にご尽力されてこのたび退任された次の12名の方々に對して、町会連合会から感謝状と記念品が贈呈された。(敬称略)

細井昭夫(富士見支部・富士見町西町会)、服部宣孔(常盤台支部・常盤台東町会)、下平信一(清水支部・清水宮本陸会)、中島信男(清水支部・大原西町会)、長堀正雄(連根支部・坂下三丁目第二自治会)、春日進(下赤塚支部・番匠免町会)、矢作清(下赤塚支部・下赤塚町会)、春日光義(下赤塚支

部・梶山町会)、藤澤肇(下赤塚支部・赤塚新町一丁目町会)、近江洋幸(下赤塚支部・南四葉町会)、本橋進(徳丸支部・徳丸不動町会)、鈴木昭夫(高島平支部・新河岸町会)

受賞した12人を代表して矢作清氏が謝辞を述べた。



受章者代表による謝辞

ぶらり、いたばし
板橋区観光協会



板橋区から区伝統工芸品の贈呈



マレー語でのイスマイル・サブリ首相挨拶



坂本区長による歓迎挨拶

昭和43年創業 テイクアウトも承ります。

おでん お多幸
季節料理 お酒
上板橋支店

板橋区上板橋1-27-7 TEL (3931) 9610
上板橋を愛し、上板橋を語り尽くす女将(ヨシさん)

土地活用・賃貸住宅経営は 0120-715-007
 アパートマンションのお部屋探しは 0120-707-852
 増改築などリフォームは 0120-050-739
 分譲住宅・不動産売買仲介は 0120-766-877

動産売買・管理・企画・設計・施工・増改築まであらゆるご希望にお応えします

株式会社 ナミキ
板橋区成増3-12-1 tel.3975-6222
http://www.namiki-grp.co.jp

少人数のご葬儀から社葬まで承ります

大正15年創業 常盤葬祭有限公司 大村葬儀社
 TEL.3956-1131
 事務センター 板橋区南常磐台1-36-8

24時間ご用命承ります

葬儀式場 ときわ会館 第一式場 第二式場
 併設の第三ホールにて法要等も承っております

町会・自治会に加入しましょう!! (町会・自治会は、地域に住む人たちが、明るく住みよい町づくりをめざして、地域におけるいろいろな問題の解決に取り組んでいる自主的団体です。)

総務部会 監査会開催

4月18日(月)区役所大会議室で、令和4年度第1回総務部会及び監査会を開催した。

総務部会では、5月30日の町会連合会定期総会への提出議案について審議され、活発な意見交換があり、原案をまとめた。引き続き同会場において監査会が開催され、令和3年度の収支について関係帳簿、領収書類、預金通帳などを確認し、適正に管理されていたとの報告があった。

常任理事会開催

常任理事会(構成員:町連会長・副会長・会計・監事・支部長・各部長・副部長・部員)が5月19日(木)午前10時から区立グリーンホールにおいて開催された。

理事会は、小林英子副会長の司会で進められ、平塚幸雄会長のあいさつに続いて、事務局より5月30日の定期総会に提出する令和3年度町連各事業報告及び同決算、令和4年度町連各事業計画(案)及び同予算(案)の説明と審議が行われた。

また、小林時也監事より4月18日に行われた令和3年度会計監査結果の報告があった。審議された議案は原案通り総会に提出されることとなった。

次に、町会・自治会長の異動状況の報告と退任される会長のうち2期4年以上在職された12名の方



総務部会で挨拶する平塚町連会長



関係帳簿を確認する左から川邊会計、大戸監事と小林監事

へ総会での感謝状贈呈が決定された。



会議の様子



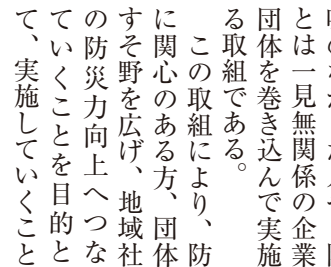
挨拶する平塚会長

板橋区住民防災組織育成連絡協議会開催

5月6日(金)に開催された事務事業連絡会。支部長会に引き続き、午後3時30分から住民防災組織育成連絡協議会が開催された。冒頭、坂本健板橋区長、



会議の様子



挨拶する坂本区長



会議の様子

3警察署を代表して高橋季樹高島平警察署長、両消防署を代表して長谷川清美板橋消防署長のあいさつがあり、議事に入った。

「令和4年度板橋区住民防災組織活動方針(案)」について、柏田真地域防災支援課長から説明があり、審議の結果、原案どおり決定された。(別掲のとおり)

続いて報告事項として、「いたばし防災プラスプロジェクト」について説明があった。この事業の目的は、少し堅苦しいイメージのある「防災」に楽しい、おいしいといった「なにか」をプラスして、これまで防災に興味のなかった人や、防災とは一見無関係の企業や団体を巻き込んで実施する取組である。

この取組により、防災に関心のある方、団体のすそ野を広げ、地域社会の防災力向上へつなげていくことを目的として、実施していくことと

している。令和3年度には、「おうちで備えるキャンペーン」、「#おうちで備える2021」SNS写真投稿キャンペーン、「防災レシピ」、「実感!ハザードマップ」、「動画配信(板橋防災プラスチャンネル)」、「防災スマホ教室」、「いたばしシェイクアウト訓練」、「防災スナック」等の事業を実施した。令和4年度も同様の事業が展開される旨、報告された。

参加者からは、避難所開設や避難経路、避難方法などの意見や要望が出され、活発な議論が展開され終了した。

都町連定期総会開催 東京都町会連合会定期総会が、6月16日(木)午前10時30分から都庁

第二本庁舎1階二庁ホールで開催され、平塚幸雄会長が出席した。初めに吉成武男会長(中野区)の挨拶があり、議事に入った。

第1号議案「令和3年度東京都町会連合会事業報告」、第2号議案「同収支決算報告」及び「監査報告」、第3号議案「令和4年度東京都町会連合会事業計画(案)」、第4号議案「同収支予算(案)」、「同本部役員等(案)」が提出され、審議の結果、全会一致で承認された。

都町連表形式及び懇親会は場所を移して、京王プラザホテル「花A B」で行われた。はじめに東京都町会連合会表彰が行われ、会長挨拶の後、来賓を代表して小池百合子都知事、三宅しげき都議会議長、長谷川敬二全国自治会連合会会長の3名が祝辞を述べた。

板橋区からは、戸田敏之支部長(高島平)、會田藤治支部長(徳丸)及び徳山安子支部長(仲町)

表彰された戸田支部長、平塚会長、徳山支部長と會田支部長



左から表彰された戸田支部長、平塚会長、徳山支部長と會田支部長



都町連表形式で挨拶する小池都知事

の3名が表彰され、代表して戸田支部長が受け取った。

ウクライナ避難民支援に寄付金を贈呈

板橋区ではウクライナ避難民支援のための寄付をふるさと納税型クラウドファンディングとして募集している。戦禍を逃れ、ウクライナから板橋区に避難してきた方々が安心して生活できるように、ご本人やご家族、支援者などに対する支援に使われる。町会連合会としても何か支援を考えていたところであり、5月6日に開催された本部役員会及び支部長会で寄付を決定し、6月1日(水)、事務事業

支援に寄付金を贈呈された。寄付金は、18支部から各1万円と町連から12万円の合計30万円が寄付された。

平塚会長から坂本区長へ寄付金を贈呈

令和4年度板橋区住民防災組織活動方針(抜粋)

1 住民防災組織の重要性

東京では首都直下地震等の大規模地震災害が危惧されている中で、令和3年10月には千葉県北西部において最大震度5強、令和4年3月には福島県沖で最大震度6強の地震が発生した。いずれの地震も区内で震度4程度を観測した地震であり、都心部においても影響がある地震が頻発している。また、2年間にわたって発生し続けているものも激甚化する台風被害も懸念事項であり、令和元年度には台風15号や台風19号が大きな被害をもたらした。

地震や風水害のような広範囲にわたる被害が同時多発的に発生した場合、公的機関による対応には限界があり、被害の拡大を防ぐためには、地域住民の主体的な活動によるきめ細やかな対応が重要である。この「共助」の基盤となる存在が住民防災組織であり、災害時には防災活動の中核を担う、欠かすことのできない存在である。

住民防災組織が率先し、平常時においても防災活動や日々の訓練に取り組み、地域の様々な団体と連携し活動を行うことにより、地域への防災に関する意識付けが進むことをめざしている。

2 住民防災組織の活動目標

(1) 自助・共助による災害時の体制強化

自分の身は自分で、自分たちのまちは自分たちで守るという防災意識の醸成を図り、自助・共助の実効性を高めていく。

(2) 防災知識及び技術の普及・啓発

防災訓練等を通じて家具類の転倒防止による家の中の安全対策、食料や水など非常備蓄品の準備、情報収集・伝達手段の確保など、身近なことから取り組むことのできる防災知識や初期消火・応急救護など防災技術の普及・啓発を行うことにより、防災意識の向上を図る。

(3) 地域で連携した防災活動

災害が起こったとき、自主防災組織は学校やPTA、地域内にある事業所やマンションなどと協力し、災害時の連携を想定した訓練を行う。

3 住民防災組織に対する区の支援

- (1) 非常用発電機の配備について (2) 区民防災大学の実施 (3) 防災セミナーによる防災意識啓発 (4) 「東京マイ・タイムライン」を活用した防災講習会を実施 (5) 実践的な防災訓練・体験型の防災訓練の支援 (6) 住民防災組織への連絡体制の強化 (7) 板橋防災プラスプロジェクトで防災を身近に【おうちで備えるキャンペーン】【防災スマホ教室】【板橋防災プラスチャンネル】【いたばしシェイクアウト訓練】

4 防災事業の実施

(1) 総合防災訓練【令和5年3月12日(日) / 18地区で実施】

多くの区民が参加しやすい日曜日に、また、東日本大震災による甚大な被害及び教訓を風化させないために、3月の第2日曜日に実施する。より実践的かつ効果的な訓練内容になるよう、地区別防災対策マニュアルを活用するなど、各支部の町会・自治会長会議等の機会において訓練計画を協議する。なお、総合防災重点地区訓練は、防災フェアと統合し、次項のいたばし防災まつり(仮称)を実施する。

(2) (仮称)板橋防災まつり【予定:令和4年11月中開催/板橋ブロック内】

従来実施していた総合防災重点地区訓練と防災フェアにおいて課題となっていた、訓練内容のマンネリ化、一般区民の訓練参加率が低いことなどの諸課題の改善を図るため、町会加入促進運動や、幅広い年齢の方が参加したいと思えるような集客コンテンツを用意した「(仮称)板橋防災まつり」を実施する。実施にあたっては、警察・消防・自衛隊及びライフライン関係機関等と合同で実施する。

お葬式なら 24時間365日受付
SR 自由設計 セレモニー ソーレスト
フリーダイヤル 0120-6556-18
家族葬専用式場あります お葬式セミナー 毎月10日開催
有楽町線・副都心線の池袋駅から徒歩5分・環七沿い (本館・別館)板橋区小茂根4-25-3

快適ライフのアドバイザー

多様化するニーズに対応するため これからもアイデマンは躍進していきます



IDグループ 株式会社 石井電工

tel:(03)3973-8529 fax:(03)3959-6067

電気設備設計施工 空調設備設計施工 床暖房工事 東京都板橋区南常盤台1-11-9 IDビル



平塚会長から坂本区長へ寄付金を贈呈

~最も身近で、最も頼りにされる金融機関を目指して~



皆様のお役にたつ 東京信用金庫

Table with 3 columns: Branch Name, Address, and Phone Number. Includes branches like 板橋支店, 大村支店, 志村支店, etc.

TOPPAN

凸版印刷株式会社

http://www.toppan.co.jp/

東京都板橋区志村1-11-1 TEL 03-3968-5111

板橋のまちをキレイにしよう！ 「春の板橋クリーン作戦」

板橋区では、毎年春と秋に板橋クリーン作戦を実施している。
今年も5月21日（土）から6月5日（日）まで、各地域で様々な団体、個人が参加し、道路や歩道の清掃活動を行った。

町会・自治会関係では、各支部に設置されている環境行動地区委員会としての参加が5地区（板橋・熊野・仲町・大谷口・舟渡）町会・自治会単独の参加が131団体だった。

ごみの中でもレジ袋やプラスチック容器が海に流れ出て、海の環境悪化や生き物にも悪影響を与えていると、最近ニュースでよく聞かれることである。
参加者たちも、ビニールやプラスチックごみの多さに驚いていた。



街道沿いの植え込みにたくさんのごみが！ 各地区で実施したクリーン作戦

富士見「アサガオの種の配布」

富士見地区で、花を楽しんでもらうとともに緑化推進を図るため、富士見地域センターで育てたアサガオから採れた種を地域の方々に配布した。

この取り組みは昨年度から始めた「2重の緑のカーテン」で、校庭側に植えたアサガオ、建物側に植えた「ゴーヤ」の2重の緑のカーテンにより夏の強烈な日差しを防ぐもので、センターの冷房の設定温度を上げることができると、その効果を実感することとなった。

封詰めやラベル貼りは地域のボランティア推進委員の方々の協力により、既に500袋を超えるアサガオの種（1袋30粒程度）を配布することができた。「早速家で植えてみたい」「紫色のアサガオの種がほしい」などの感想も聞かれた。



アサガオが咲き誇る緑のカーテン



配布されたアサガオとふうせんかずらの種

この記事が掲載される頃には、地域に綺麗なアサガオの花がたくさん咲いていることであろう。

2025年度SDGs 未来都市に選定！

板橋区は、5月20日、国からSDGs未来都市に選定された。今年2月の募集にあたり、「絵本がつなぐ『ものづくり』と『文化』のまちの実現！子育てのしやすさが定住を生む教育環境都市」をタイトルとして提案した。

これまで板橋区では、平成5年に「エコポリス板橋」環境都市宣言を行い、環境学習施設であるエコポリスセンターや板橋清掃工場の余熱を利用した熱帯環境植物館の設置、板橋から全国に広まった緑のカーテン事業などに取り組んできた。

また、令和4年1月には、2050年にCO2排出量実質ゼロをめざすゼロカーボンシティ表明「ゼロカーボンいたばし2050」を行った。

「絵本のまち」の推進

板橋区は、「ポロニー国際絵本原画展」をはじめとした、絵本に関する取組をブランドとして捉え、区民が絵本に親しむだけでなく、創作活動の支援充実を図り、区民と創作者の視点に立った事業実施と相乗効果によって、「絵本のまち・板橋」としてのブランド力向上を図っている。

令和3年3月に緑と文化を象徴する図書館として生まれ変わった中央図書館は、板橋区平和公園の豊かな緑の環境の中で「絵本のまち」を発信する拠点として展開していく。

絵本のまちxSDGs

どこでも身近に、誰でもわかりやすく理解できる「絵本」は、誰一人取り残さないSDGsの理念に通じていることから、この「絵本」とSDGs

各地域で緑のカーテン

板橋区から全国に広めた「緑のカーテン」が、今年も5月頃から各地域で講習会などが開催され、区施設をはじめ各家庭や事業所での育成が始まった。

ゴーヤやへちまなどで作るこの緑のカーテンは、夏の強い日差しや外からの熱を和らげ、室温の上昇を抑え、冷房の使用抑制による省エネルギー効果、建物に熱を蓄積させないことによるヒートアイランド現象緩和の効果が期待できるものである。

また、収穫したゴーヤなどを食べる楽しみ



志村坂上地域センター



熊野地域センター



仲町地域センターでの講習会



前野地域センターでの講習会



富士見地域センター



板橋地域センターでの講習会

SDGs未来都市とは

国がSDGsの達成に向けて、優れた取組を提案する自治体を募集・選定する制度



板橋区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

「子どもまつり」

5月29日（日）に町連下赤塚支部、青健下赤塚地区委員会や管内の児童館等の共催により、下赤塚小学校で、子どもまつりが3年ぶりに開催された。

当日は晴天に恵まれ、陽射しも強く暑くなったが、小学生や幼児を連れた家族など約700人の人出で賑わっていた。



様々なコーナーで楽しんでいた



ナイスシュート！



開会式で挨拶する坂本区長

板橋・志村消防団 消防操法大会実施

板橋消防団（大野治彦団長）では、5月29日（日）板橋フレンドセンター（旧板橋第四中学校）敷地において8分団が参加し、志村消防団（山口彦市団長）では6月12日（日）東京都中央卸売市場板橋市場構内で10分団が参加して、それぞれ消防操法大会を実施した。

大会は、分団ごとに選ばれた5人一組のチームが可搬ポンプを使って簡易水槽から取水し、目標物に向けて放水する基本操法で競い合った。



放水、はじめ！（板橋）

SUGAMO SHINKIN

板橋支店 ☎3961-1601
 常盤台支店 ☎3960-0121
 志村支店 ☎3960-2131
 成増支店 ☎3938-0151
 東武練馬支店 ☎3935-2111
 幸町支店 ☎3959-1171
 板橋栄町支店 ☎3961-5111
 東新町支店 ☎3958-8811
 高島平支店 ☎3937-2111
 新高島平支店 ☎5997-1211
 小竹向原支店 ☎3554-5511

喜ばれることに喜びを
巣鴨信用金庫

医新会 医新クリニック

診療科目：整形外科 訪問看護 泌尿器科 人工透析

板橋区大山町23-1 5995-5100

一般診療・各種保険取り扱い

訪問看護ステーションにりんそう 5926-8671
板橋区大山町 11-4-201

住民同士の支え合い

ぬくもりサービス

買物や食事の支度
外出の付き添いなどにご協力くださる方
募集中

板橋区社会福祉協議会
ぬくもりサービス担当 ☎(3964)1185
✉nukumori@itabashishakyo.jp

表彰式の様子（志村）

二丁目）が、志村消防団では第8分団（受持区域 赤塚1・2・5丁目（1・6・8・11・16）・6・7・8丁目、赤塚新町1・2・3丁目、大門、高島平4・6丁目（2・7・7丁目）が優勝した。

支部ニュース

中台

さくら草 展示ウィーク

中台支部では、3月に「さくら草展示ウィーク」を開催いたしました。例年3月は「さくら草まつり」を開催しておりますが、多くの方々が関わるため、長引く新型コロナウイルス感染症による影響から今年も開催は困難であろうと考えておりました。



展示の様子(まつりでは約2,500鉢集まる)

しかし、この「さくら草まつり」は、自生の草木を鑑賞するのではなく、地域で丹精込めて育てた「さくら草」を愛でることが最大の特徴です。

「さくら草」は、地域の世話人さんを中心に、昨年の花からとれた種で苗を育て、そこから一鉢ずつ株分けし、さらに栽培協力者、保育園、小・中学校の子どもたちへと広がりました。地域全体で愛情を込めて育て花を咲かせます。

地域で育てたこの「さくら草」を、なんとか展示だけでもできないものかと考え、地域センターで展示することといたしました。

地域の皆様のご協力をいただきながら、規模を縮小したものの、集まった「さくら草」は非常に華やかで訪れた方々の目を楽ませていました。当

前野

コロナ禍での事業への取り組み

これまで、前野支部では、新年度を迎えると、休む間もなく各種イベントが始まっています。

しかし、新型コロナウイルス対策が長期化する中、令和2年度、3年度においては、多くの各町会、自治会が活動の中止、縮小を余儀なくされております。



ガーデニング講習会の講演・実技



総会開催の様子

また、今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況を見据えつつ、7月、8月には、「非行化防止連携強化会議」、「マイキャン」が予定されており、安

心・安全な開催に向け、手さぐりでの準備が進められています。各種イベント開催は、地域の世代間交流や、出

徳丸

徳丸北野神社に獅子舞と四ツ竹踊りを奉納

朝から好天に恵まれた5月5日の午後、コロナ禍で控えていた獅子舞と四ツ竹踊りを三年ぶりに徳丸北野神社に奉納しました。



獅子舞の様子



四ツ竹踊りの様子

ながら踊ります。今回は「伊勢音頭」や「ヤッサカ」など四つの歌と踊りが披露されました。何れも地域に伝わる民俗芸能で板橋区指定無形民俗文化財に登録されており、国の重要無形民俗文化財である「田遊び」と共に徳丸地区の至宝です。地域の伝統文化には、住民の交流を深め活力を生む力があると思ひます。今年度は、適切な感染防止策を講じつつ、各町会において盆踊り大会を開催する予定です。

いたばしの文化財④

今回は東新町二丁目30番の安養院にある梵鐘(文化財の名称は安養院銅鐘)を紹介してまいります。当寺の梵鐘は、住職である祐淳が元禄元年(一六八八)から同二年にかけて当寺を再建した際に鑄造されたことが、次に紹介する梵鐘の銘文から明らかです。

安養院銅鐘

公文書館専門員 畠山 聡

した真言宗の学僧で、河内国(現大阪府)を中心に畿内各地で盛んに講經を開き、密教での儀式の規則を記した「儀軌」の伝授や庶民の教化に努め、そ

の柳沢吉保の援助を受けて湯島に靈雲寺を創建している。祐淳が浄厳から教えを受けたのもこの頃で、その縁で梵鐘を鑄造する際にそこに刻む文を

浄厳へ依頼したのである。こうして鑄造された梵鐘であるが、享和二年(一八〇二)九月二十七日に住職である慶範が鑄物師の粉川市正藤原国信に依頼して改鑄されたこと



安養院銅鐘

かれています。梵字とは古代インドで使用されたサンスクリット(悉曇文字)のことで、西遊記の三蔵法師のモデルとして有名な玄奘三蔵がインドから中国へ持ち帰った経典もこれで書かれていた。浄厳は、近世悉曇学の泰斗で、この梵鐘のような五つの区画に七字五行で銘文と梵字を配置する様式の創作者とも言われています。

「百字真言」の文字

町連文芸

俳句

板橋区俳句連盟監修

衰えし詩魂を覚ます聖五月

蓮根三丁目 上田 桜

梅雨入りの窓に明るき団地の灯

双葉町 塚田 京子

思い切り直球でこい青嵐

前野町 丸山 健一

陽炎や野末の地蔵あるき出す

中台一丁目 山口 吉二郎

緋の目高動き激しく餌を食む

板橋一丁目 佐藤 静子

短歌

一ノ瀬美智子選

新緑の鮮やかな庭の木々

空にむかいて希望と茂る

弥生町 小藤田 程子

ささやかな募金する朝

ウクライナ平和の

訪ずれいつの日なるや

徳丸 山下 登美

雨ひと日梅に登りて

かじりたる実の味なども

思い出される

板橋 広木 啓次

行くつもりだけれど

旅のカラフルなチラシに

今朝も心弾みぬ

大山東町 和田 ふみ緒

友好のブロンズ像の壊さるを

見つめる女のルーツはロシア

赤塚新町 野口 三枝

TAISET 太盛運輸株式会社

代表取締役 小泉 雅 義 東京都板橋区舟渡 2-10-3
 ☎ (3969) 8196 (代表) FAX (3558) 8593 ごみのことならお気軽にご相談下さい

新館(板橋区協定斎場)寝台車(営業車)24時間
 生前予約承ります
 区民葬 家族葬一式
 株式会社 **正美堂**
 大村葬儀社
 (本館有り) 0120-88-5683
 相談コーナー 03-3966-5683
 板橋区志村3-1-16

板橋青色申告会
 郵政福祉
 24時間霊安室有(冷蔵庫有り)
 協定斎場2日間8万円(区内)
 協定斎場2日間10万円(区外)